

経営比較分析表（令和4年度決算）

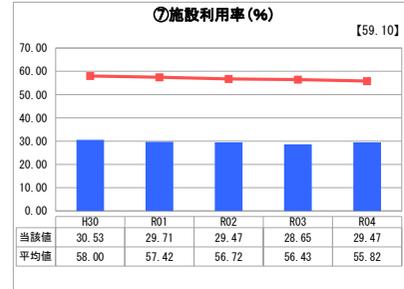
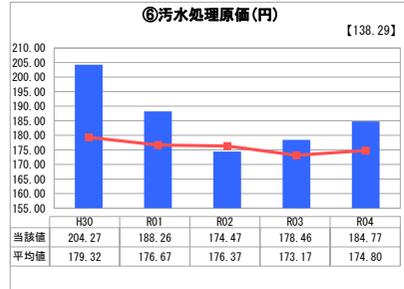
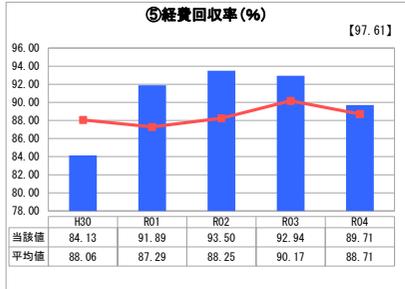
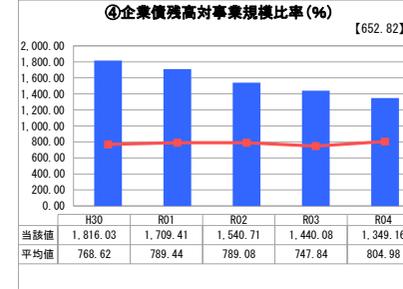
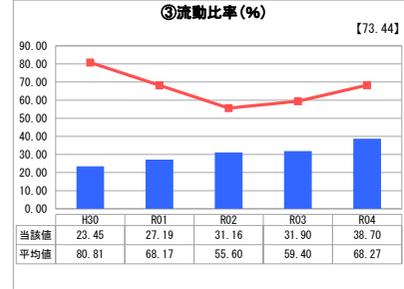
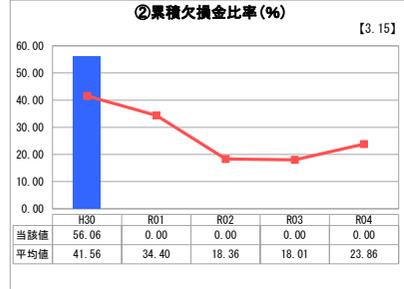
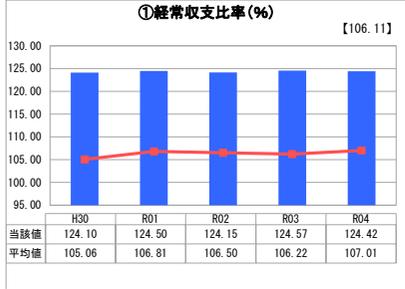
秋田県 大仙市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cc1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	46.55	34.01	87.34	3,220

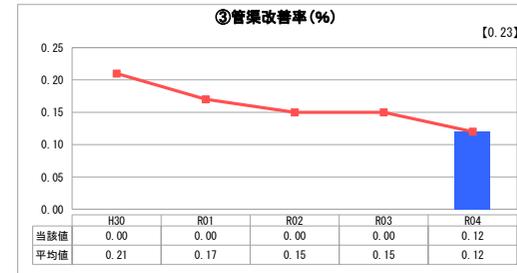
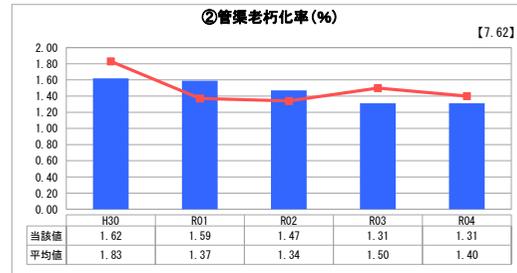
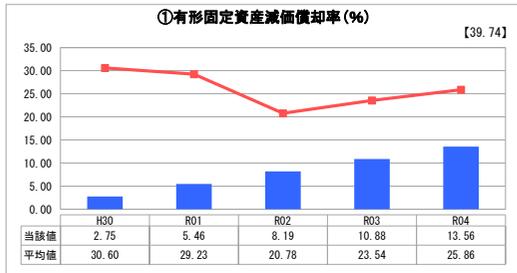
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
76,537	866.79	88.30
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
25,804	8.64	2,986.57

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は100%以上となっているが、経常収益の約4割を一般会計繰入金に依存している状況である。
 ②累積欠損金はR1年度決算において解消している。
 ③流動比率は僅かながら増加傾向にある。今後も企業債の借入を抑制しつつ、接続率の向上による使用料収入の増収を図る。
 ④企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値より高くなっているが、企業債現在高は減少傾向にある。今後も施設更新への適切な投資を実施していく。
 ⑤経費回収率は類似団体平均値を上回るものの100%未満となっている。汚水処理費のうち7割が流域下水道維持管理負担金であり、不明水の解消に取り組むことで費用削減を図る。
 ⑥汚水処理原価はR2年度で類似団体平均値を下回り減少傾向にあったが、R3以降は増加に転じ類似団体平均値を上回っている。年間有収水量は増加しており、今後も接続率の向上に取り組む。
 ⑦施設利用率は類似団体平均値を下回っている。将来の汚水処理人口減少を踏まえ、適切な施設規模の維持を検討していく。
 ⑧水洗化率は類似団体平均値を下回っており横ばいの状態が続いている。使用料収入の増加を図るため、下水道接続促進補助金制度の利用促進に取り組んでいる。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は類似団体平均値を下回っている。将来的な人口減少等を見据えた適切な規模の施設更新投資を計画していく。
 ②管渠老朽化率は類似団体平均値を下回っている。将来的な管渠の更新時期を見据え、設備の回復・予防保全のための修繕や事業費の平準化を図り、計画的かつ効率的な維持修繕・改善更新に取り組む。
 ③管渠改善率は類似団体平均値と同じである。管渠老朽化率の推移を見据えながら計画的な更新を実施していく。

全体総括

経営収支比率が100%以上であり単年度の収支が黒字となっているが、収入は一般会計からの繰入金に依存している状態である。汚水処理に係る費用を下水道使用料による収入だけでは賄っていないため、接続率の向上及び維持管理費の削減といった経営改善が必要である。
 企業債残高は減少傾向にあり、将来的な人口減少を見据えた適切な規模の施設更新投資を実施していく。
 下水道の面整備終了により今後はストックマネジメントによる計画的な施設の更新等を行い、公共水域の水質保全を図るとともに良好な生活環境の確保のため、将来にわたって安定的で継続的な事業運営を図る。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。